

2010年9月期 第2四半期決算説明会

2010年6月3日 東京証券会館
株式会社CSSホールディングス

・ CSSグループの概要	1～ 3
・ 連結業績	4～ 5
・ 各事業の業績	6～18
・ 今後の展望	19～22



証券コード2304

会社概要

【会社名】	株式会社CSSホールディングス【証券コード 2304】
【設立】	1984年(昭和59年)12月
【資本金】	393百万円 (2010年3月31日現在)
【発行済株式総数】	52,856株 (2010年3月31日現在)
【決算期】	9月
【本社所在地】	東京都千代田区麹町6丁目1番地25
【業務内容】	CSSグループ全体の経営・管理
【代表者】	代表取締役社長 松木 崇

【グループ会社】	株式会社セントラルサービスシステム (CSS)	(スチュワード事業)
	東洋メディアリンクス株式会社 (TML)	(映像・音響機器等販売施工事業)
	株式会社センダン (SDN)	(総合給食事業)
	音響特機株式会社 (OTK) ※ TML100%子会社	(音響・放送機器等販売事業)
	株式会社CSSビジネスサポート (CBS)	(総務・人事・経理管理事業)

CSSグループの概要

お客様

ホテル・レストラン

金融機関

商業施設

学校・病院・介護施設

CSSグループ

I 料飲ビジネス

株式会社セントラルサービスシステム

スチュワード事業

株式会社センダン

総合給食事業

II 空間プロデュース

東洋メディアリンクス株式会社

映像・音響機器等販売施工事業

音響特機株式会社

音響・放送機器等販売事業

III グループ管理

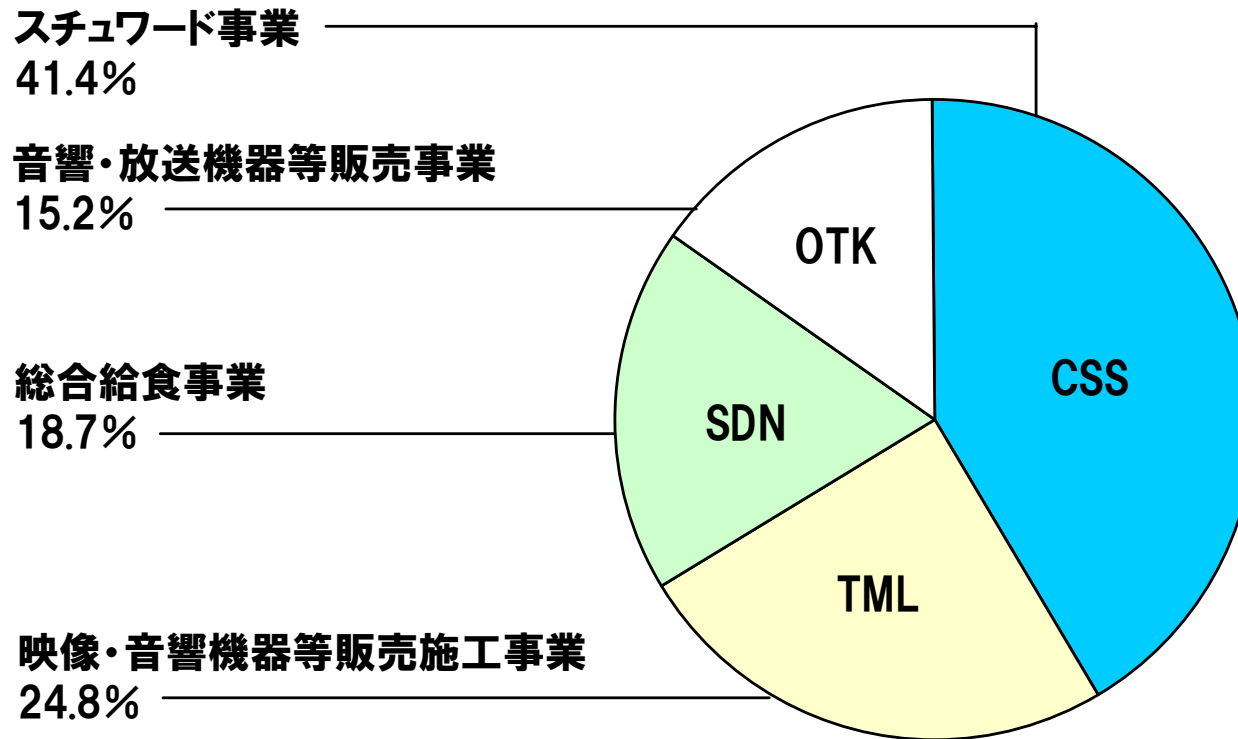
株式会社CSSビジネスサポート

総務・人事・経理管理事業

株式会社CSSホールディングス

グループの経営・管理

CSSグループ事業別売上構成比



当第2四半期（6ヶ月間）
連結売上高 6,387百万円

前年との比較（6ヶ月間）

（単位：百万円）

	09年9月期 第2四半期 実績	10年9月期 第2四半期 実績	差異
売上高	8,394	6,387	△ 2,006
営業利益	220	144	△ 76
経常利益	223	156	△ 66
四半期純利益	139	102	△ 37
1株あたり当期純利益(円)	2,724	2,000	△ 723

計画との比較（6ヶ月間）

（単位：百万円）

	10年9月期第2四半期		差異
	計画	実績	
売上高	6,718	6,387	△ 330
営業利益	75	144	68
経常利益	75	156	81
四半期純利益	57	102	44
1株あたり当期純利益(円)	1,116	2,000	884

■「現場主義の徹底による人材育成」
「コスト削減による利益体質の強化」
の方針のもと、諸施策を実行

■売上高

- ・前年比、計画比ともに減少
- ・ホテル業界、商業施設の収益改善には未だなお時間を要する状況

■売上総利益率

- ・17.2% に改善
- 〔前年比 +1.3%
- 〔計画比 +1.1%

■販売費及び一般管理費

- ・前年比、計画比ともに減少

■営業利益、経常利益、当期純利益

- ・前年より減少、計画は大きく上回る

連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 09年9月末日現在	当期末 10年3月末日現在	差異
資産合計	6,707	7,113	406
流動資産	5,148	5,561	413
固定資産	1,558	1,551	△ 7
負債合計	5,112	5,445	332
流動負債	3,658	3,996	337
固定負債	1,454	1,448	△ 5
純資産合計	1,594	1,668	74
株主資本	1,612	1,676	63
評価・換算差額等	△ 18	△ 7	10
負債・純資産合計	6,707	7,113	406

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	09年9月期 第2四半期 累計期間	10年9月期 第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 168	438
投資活動によるキャッシュ・フロー	138	109
財務活動によるキャッシュ・フロー	151	△ 34
現金及び現金同等物の増減額	121	513
現金及び現金同等物の期首残高	2,482	2,402
現金及び現金同等物の期末残高	2,603	2,915

■資産の部

- ・流動資産は、売掛金等の増加により、413百万円増加

■負債の部

- ・未払金、負ののれんの償却額の減少、買掛金の増加等により、332百万円増加

■自己資本比率

- ・23.5%

■キャッシュ・フロー

- ・現金及び現金同等物の期末残高は、期首比513百万円の増加

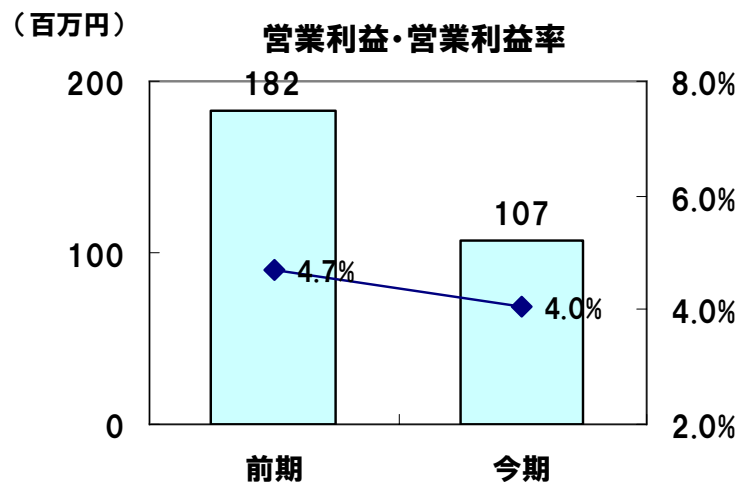
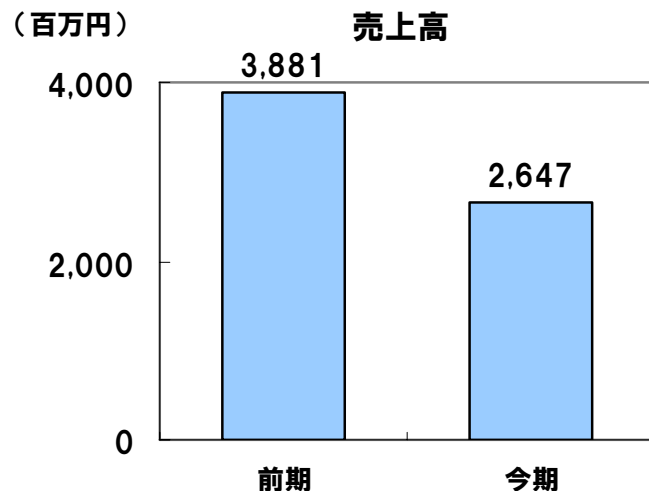
スチュワード事業

【事業内容】	ホテル・レストラン向け食器洗浄を中心としたスチュワード業務
【事業会社名】	株式会社セントラルサービスシステム（CSS）
【設立】	2008年4月1日（新設分割により設立）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 三瓶 秀男
【従業員数】	3,459名〔うち、パートナー（パート・アルバイト）3,293名〕
【事業所】	全国96事業所（2010年3月31日現在）



スチュワード事業（CSS）

前年との比較（6ヶ月間）



■「現場主義の徹底による人材育成」を推進

- ・リーディングカンパニーとしての教育・研修を実施
- ・事業所一件ごとの業務オペレーションを見直し、改善を図る

■売上高

- ・前年に比べ減少
- ・ホテル業界は、客室単価の下落傾向や、法人宴会需要の減少が続く

■売上総利益率

- ・前年並みの14.2%を確保

■営業利益率

- ・4.0%を確保
 - 前年比 $\Delta 0.7\%$
 - 計画比 $+1.3\%$

スチュワード業務のラインナップ

- | | |
|------------|--|
| ■ 食器洗淨 | スチュワーディングの基本業務 |
| ■ 鍋洗い | 使用後の鍋類の洗淨から厨房機器のクリーンナップ |
| ■ バッシング | 食器・什器の仕分けから洗淨エリアまでの運搬 |
| ■ ランナー | 食器・什器の安全・確実・迅速な運搬 |
| ■ スタンバイ | 食器・什器・料理のセッティング |
| ■ 什器メンテナンス | 陶磁器の漂白、銀器の脱酸化処理や磨き、破損の有無、メッキの状態の品質チェック |
| ■ インベントリー | 施設全体の食器・什器の数量・収納場所の管理 |
| ■ スナッカー | サンドイッチ・サラダ・パフェ類等の盛り付け、軽食の調理 |
| ■ 調理補助 | キッチンのアシスタント、野菜の洗淨、料理の下ごしらえや盛り付け |
| ■ 厨房清掃 | 厨房全ての清掃・メンテナンス |
| ■ ゴヤベジ管理 | ゴミの仕分けから処理・搬出、衛生面の環境整理 |

総合給食事業

【事業内容】	従業員食堂、レストランの運営およびフードサービス全般
【主要顧客】	ホテル、一般企業、学校、病院、介護施設
【事業会社名】	株式会社センダン（SDN）
【設立】	1997年1月（02年12月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 磯邊 和彦
【従業員数】	808名 [うち、パートナー(パート・アルバイト) 668名]
【事業所】	全国69事業所（2010年3月31日現在）

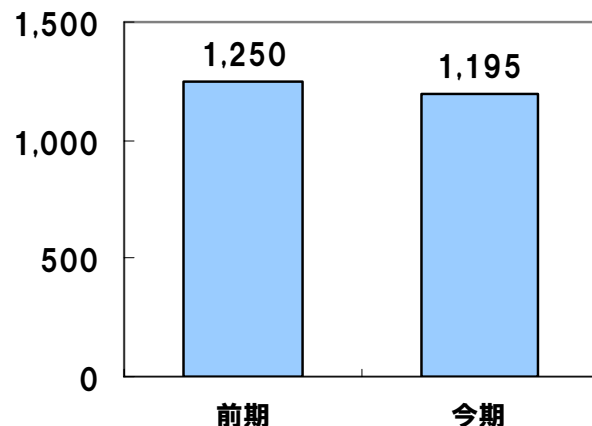


総合給食事業（SDN）

前年との比較（6ヶ月間）

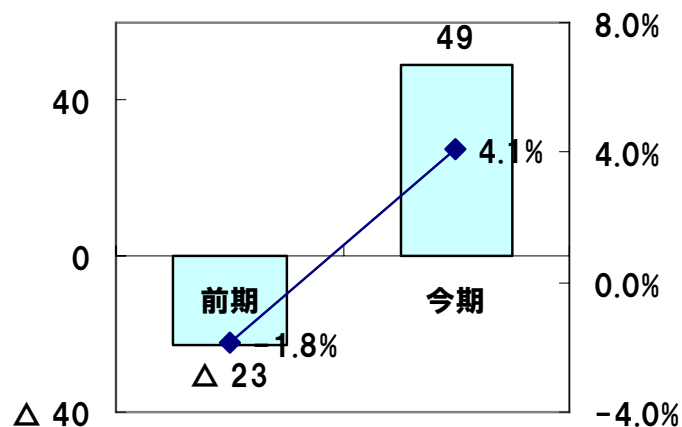
（百万円）

売上高



（百万円）

営業利益・営業利益率



■飲食業界のアウトソーシングニーズが高まる

■売上高

- ・ 前年並みを確保
- ・ 今上半期は、新たに2件の事業所を開業

■売上総利益率

- ・ 13.5% に改善
 - 〔 前年比 +4.5%
 - 〔 計画比 +2.9%
- ・ 食材統一調達システムの導入により、売上原価の低減を実現

■販売費及び一般管理費

- ・ 前年比、計画比ともに減少

■営業利益

- ・ 大幅に改善、連結業績に大きく貢献
 - 前年比 +71百万円
 - 計画比 +38百万円

新規開業事業所



2009年10月業務開始

九州地区のホテル内
レストラン業務、宴会業務の運営



2010年 1 月業務開始

関東地区の金融機関内
従業員食堂の運営

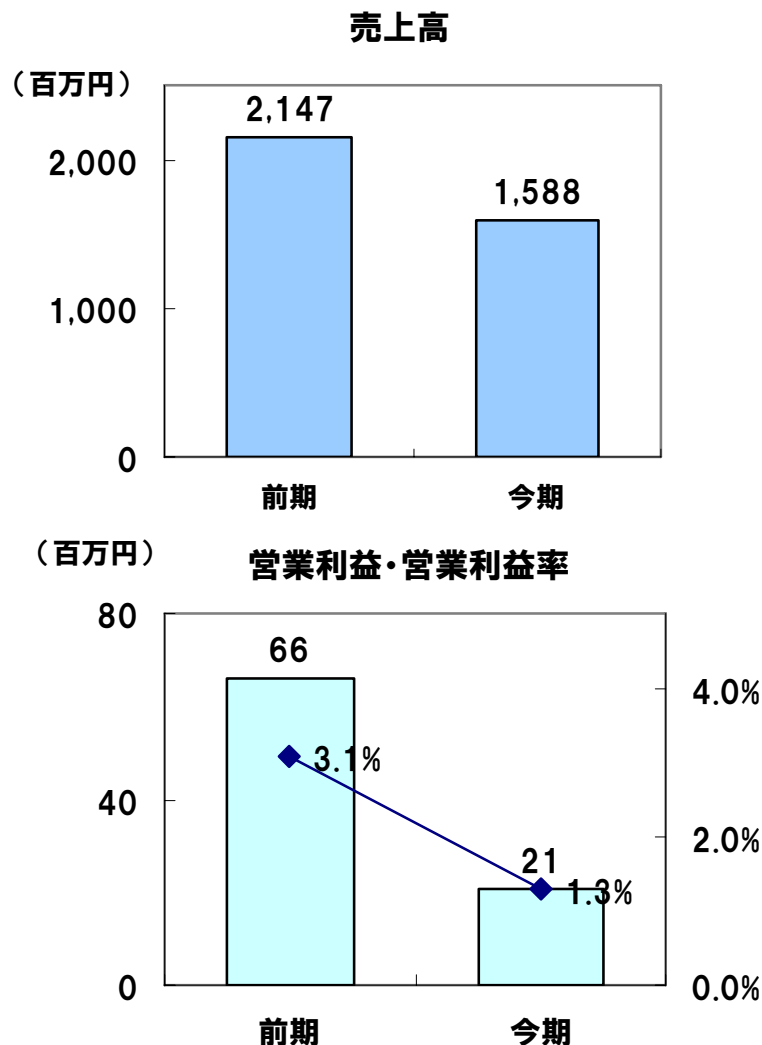
映像・音響機器等販売施工事業

【事業内容】	BGMのパイオニア企業としての音楽関連業務 セキュリティシステム、映像・音響システムの設計施工業務
【事業会社名】	東洋メディアリンクス株式会社（TML）
【設立】	1962年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 杉山 衛正
【従業員数】	80名



映像・音響機器等販売施工事業（TML）

前年との比較（6ヶ月間）



■ますます多様化する顧客ニーズに対応、
確実なサービス提供や納期厳守に努める

■売上高

- ・前年比、計画比ともに減少

■売上総利益率

- ・23.7% に改善
 - 〔前年比 +1.8%
 - 〔計画比 +1.7%

■販売費及び一般管理費

- ・組織の見直しと本部の集約化を行い、本部経費中心に、前年比、計画比ともに減少

■営業利益

- ・前年比、計画比ともに減少

映像・音響機器等販売施工事業（TML）

TML顧客別売上構成比

24.1%

セキュリティシステム（監視カメラ）等の
設計・施工・保守

38.9%

放送設備工事
テレビ番組用効果音の収録
オフィス移転に伴う室内工事

2.3%

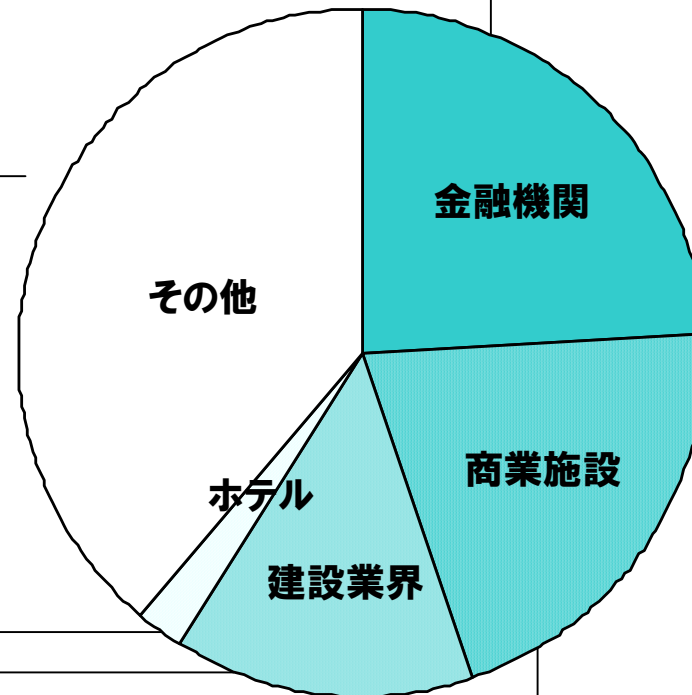
館内放送

14.16%

放送設備工事、インターホン設備工事

20.6%

BGMの配信
オリジナルサウンドの制作
音響設備の設計施工



当第2四半期（6ヶ月間）

売上高 1,588百万円

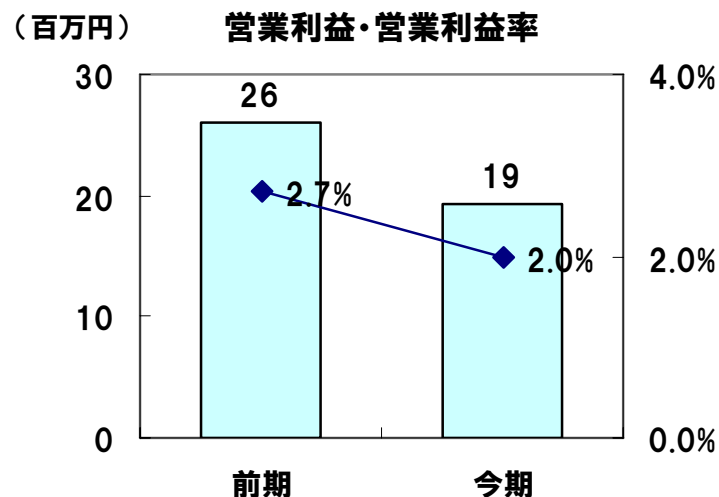
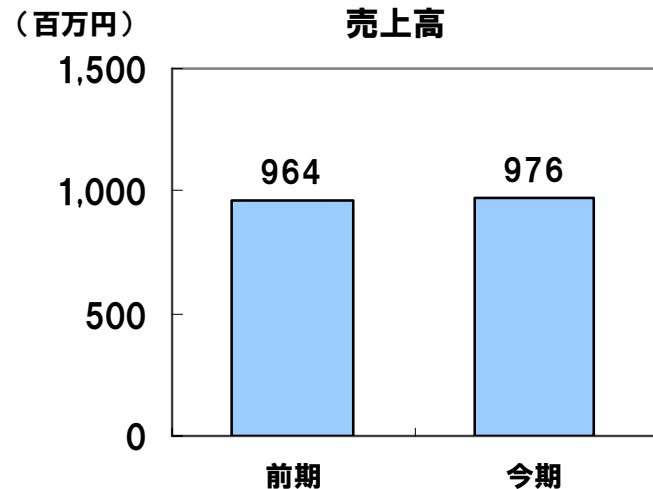
音響・放送機器等販売事業

【事業内容】	大型スピーカーやアンプなど、プロフェッショナル向け 音響機器の輸入・販売
【事業会社名】	音響特機株式会社（OTK）
【設立】	1979年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	120百万円（東洋メディアリンクス株式会社の100%子会社）
【代表者】	代表取締役社長 辻 勝太郎
【従業員数】	27名



音響・放送機器等販売事業（OTK）

前年との比較（6ヶ月間）



■新たに国内総代理店権を獲得した海外製品の販売促進を推進

■売上高

- ・前年並みを確保

■販売費及び一般管理費

- ・商品センターの管理業務の見直し等を実施し、前年に比べ減少

■営業利益率

- ・2.0%を確保

〔前年比 $\Delta 0.7\%$
計画比 $+1.3\%$ 〕

音響・放送機器等販売事業（OTK）

主な取り扱いブランド

<国内ブランド>

■ YAMAHA
■ VICTOR

■ PANASONIC
■ PIONEER

■ ROLAND

<海外ブランド>

■ EAW	米国	スピーカー
■ CADAC	英国	コンソール
■ DIGAM	イタリ	デジタルパワーアンプ
■ BIAMP	米国	シグナルプロセッサー
■ QSC	米国	パワーアンプ、スピーカーシステム
■ Clud	英国	ゾーンミキサー
■ MACKIE	米国	スピーカー・アンプ

<OTKの国内総代理店権獲得年月>

1990年4月
1991年10月
2003年12月
2004年11月
2008年3月
2008年8月
2009年2月



EAW



CADAC



QSC



MACKIE 「FUJI ROCK FESTIVAL」

総務・人事・経理管理事業（CBS）

【事業内容】

グループ会社の総務・人事・経理管理業務

【事業会社名】

株式会社CSSビジネスサポート（CBS）

【設立】

2008年4月（新設分割により設立）

【資本金】

10百万円

【代表者】

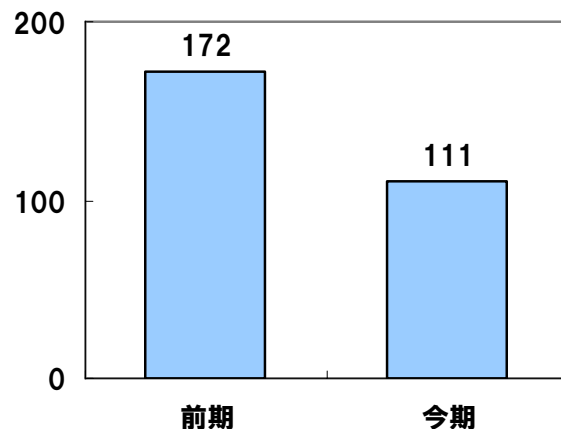
代表取締役社長 川勝 雄介

【従業員数】

19名 [うち、パートナー(パート・アルバイト) 6名]

前年との比較（6ヶ月間）

（百万円） 販売費及び一般管理費の削減



■ 業務効率化により、利益面で連結業績に貢献

■ 販売費及び一般管理費

- ・ 組織の見直しを実施し、管理コストの低減を中心とした効率化を推進

今後の展望

■ 通期業績予想(昨年11月18日開示)は、修正いたしません。

- ・ 業績動向により修正の必要が生じましたら適時、開示いたします。

■ 第3、第4四半期も当社を取り巻く経済環境は、引き続き厳しい状況が続くことを予想

- ・ ホテル業界は、個人消費や法人需要の回復の遅れから、厳しい市場環境が続く
- ・ 大型商業施設は、設備投資の予算削減や保守計画の先のばしの傾向が続く

■ 引き続き、利益体質の強化(利益率の向上)を図る

業績見通 (単位：百万円)

	08年9月期 実績	09年9月期 実績	10年9月期 計画
売上高	17,557	14,704	13,162
営業利益	209	187	81
経常利益	195	172	94
当期純利益	△ 631	144	61
1株あたり配当金(円)	0	750	750

(参考)

10年9月期 上期実績
6,387
144
156
102
-

今後の取り組み

■ 新たな事業計画の策定

- ・ 創業30周年（2014年9月期）に向け、売上拡大による成長路線に方向を転じるべく、新たな事業計画の策定を開始

CSS（スチュワード事業）

- ・ 現場主導のもと、速やかな顧客との連携強化とさらなる顧客の利益確保を目的に、人材の育成を推進
- ・ スチュワード周辺業務（新規業務）への進出を目指し、アライアンス・パートナー様との協力体制を強化

SDN（総合給食事業）

- ・ 食と健康にこだわり、顧客ニーズである（①食の嗜好の変化 ②多様な地域性 ③多様な客層）に応じる人材の育成を推進
- ・ 全事業所へ導入を果たした食材の統一調達システムは、当第2四半期で計画を上回る売上原価低減を実現、今後は付加価値の高いメニュー開発の基盤システムとして活用

今後の取り組み

TML（映像・音響機器等販売施工事業）

- ・ ソフト部門/ハード部門/保守部門、それぞれの融合による新規商品開発と既存商品力の強化を推進
- ・ 商品仕入から販売拠点までのサービスラインの再整備を目指し、TML全国ネットワークを支えているアライアンス・パートナー様を中心とした、営業基盤の強化を図る

OTK（音響・放送機器等販売事業）

- ・ 新たに獲得した海外ブランドの販売ルートの拡大
- ・ さらなるブランド・ラインナップの充実

本資料についてのご注意

本資料は参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書をご参照願います。また、本資料に記載の業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。実際の業績などは、当社の事業を取り巻く経済情勢等の様々な要素により異なる可能性があることをご承知おき願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

TEL	03-3264-1132
FAX	03-3264-1125
E-MAIL	info@css-ltd.co.jp

連結ファクトシート

	06年9月期	07年9月期	08年9月期	09年9月期
1株当たり純資産額(円)	46,713.06	43,513.83	28,889.28	31,235.16
1株当たり当期純利益金額(円)	4,083.70	5,152.47	-12,374.04	2,829.83
自己資本比率(%)	28.6%	28.1%	19.9%	23.8%
自己資本利益率(%)	9.0%	11.4%	—	9.4%
総資産経常利益率(%)	5.9%	8.5%	2.6%	2.5%
総売上経常利益率(%)	3.9%	3.6%	1.1%	1.1%